

来春の高校入試

出題範囲を削減

社・数・理 県教委、不安に配慮

県教育委員会の定例教育委員会が11日開かれ、新型コロナウイルス感染症の影響で中学校の臨時休業が続いたことを受け、来春の高校入試で社会、数学、理科の出題範囲を削減することを決めた。学習に対する受験生の不安解消を図るための対応で、県教委は「しっかり学び、受験に向かってほしい」としている。

【2、3、4、9、11、12面に新型コロナ関連記事】

体育や美術 実技の講習会

12月にオンラインで授業を提供する予定。

削減する教科の出題範囲は、特色選抜が数学の「三平方の定理」と「標本調査」、一般選抜が社会の「公民的分野」「私たちと国際社会の諸課題」、数学の「標本調査」、理科の第1分野「科学技術と人間」と第2分野「自然と人間」。

授業の遅れを不安視する声もある中、それぞれ通常試験直前2〜3週間に学ぶ内容を対象とした。私立高



高校入試の方針を決定し、会見する吉田教育長11日、奈良市笑路町の県庁

校受験者の不安解消などのため、削減範囲については、英語は、県教委が中学校で学習することが望ましい

単語を提示する。国語は、1学期末時点の指導状況を踏まえ、2学期以降の指導計画モデルを示す。

県教委は、新型コロナウイルスの影響

による中学校の臨時休業を受け、来春の高校入試の出題範囲を検討するため、5月27、29日、市町村立中学校3年生らにアンケート調査を実施。その結果、学校

再開後の学習について生徒の約7割が「不安を感じている」と回答していた。この日会見した吉田教育長は「少しでもコロナによる不安を取り除いてあげたい。子どもたちはしっかりと受験に向かってほしい」と述べた。

また、成績の出る大会が中止になるなどで部活動に關して進路選択に不安を感じている生徒に対応するため、体育や美術関係の学科がある高校で、大会に代わる実技講習会を開催する。

全その日程に参加した生徒には修了証を発行する。中止となった部活動の全国大会の代替地方大会については、県高校体育連盟や県高校野球連盟、県高校文

化連盟と県教委の共催とする。大会の優秀者は知事表彰する。各県立高校では8月24日から、動画を使って学校紹介や質問に答える「1オ

1オンライン」を開催。従来のオンラインも実施するかは各校で検討する。



NARA NEWS PAPER
〒630-8686 奈良市法華寺町2番地4 電話(0742)32-1000(代)
発行所 奈良新聞社 ©奈良新聞社 2020
社(マイレイン)0742-
本 社 課 課 課 課 課 課
社 務 課 経 理 課 課 課 課 課 課
営 業 部 各 事 務 課 課 課
販 売 課 シニア 販 売 課
出 版 部 編集 課 課
な び ン グ 課 課
WWW.NARA.NEWS.PAPER.CO.JP